

平成30年度  
(第26期)

# 事業報告書

自 平成30年4月1日  
至 平成31年3月31日



公益財団法人とちかち財団



## 平成30年度事業報告書 目次

1	概況	1
2	ものづくり支援事業【公益目的事業1】	
(1)	試験研究	2
(2)	技術支援	
①	技術指導・企業相談	7
②	検査分析	9
③	技術講習・研修	10
④	情報発信・成果普及	13
⑤	外部資金を活用しての技術支援	16
(3)	施設の管理運営	
①	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター	17
②	十勝産業振興センター	17
3	地域連携支援事業【公益目的事業2】	
(1)	企業相談	19
(2)	開発商品等のPR及び販路拡大	
①	展示会・商談会等への出展	19
②	十勝ブランドの推進	21
(3)	地域連携の促進支援	22
4	事業創発支援事業【公益目的事業3】	
(1)	人材育成（十勝ビジネス支援プロジェクト2018）	
①	学生起業家支援	23
②	アーリーステージ事業者支援	24
③	十勝人チャレンジ支援	25
(2)	事業化の加速支援	26
(3)	Web等による情報発信	28

5	収益事業	-----	3 0
6	その他		
	(1) 中小企業向け支援制度説明会	-----	3 0
	(2) 視察受入	-----	3 0
	(3) 十勝地域町村訪問	-----	3 1
	(4) 関係機関等の主催する会議等への参画・協力等	-----	3 2
	(5) 組織力強化の取り組み		
	①職員評価育成制度の本格導入	-----	3 3
	②職員研修の実施	-----	3 3
7	管理運営事項		
	(1) 理事会	-----	3 4
	(2) 評議員会	-----	3 6
	(3) あり方検討委員会	-----	3 7
	(4) 資産運用委員会	-----	3 7
	(5) 行政特別委員会	-----	3 7
	(6) 公益法人変更認定申請	-----	3 7

## 1 概況

十勝地域においては、産学官金の緊密な連携により、事業創発・新産業育成・海外販路拡大・観光振興等に向けた積極的な取り組みが進められている。

このような背景の下、地域の産業活性化への貢献を目標に掲げている当財団は、十勝の未来につなぐ「価値」の創出と向上を図るため、平成29年度から5ヶ年で実施している「第2期産業活性化ビジョン」の取り組みを着実に進め、その成果を一層広げていくことが求められている。

第2期産業活性化ビジョンの2年目となった平成30年度は、従来の「ものづくり支援事業」「地域連携支援事業」に加え、公益財団法人起業家支援財団（神奈川県）との合併により、新たな公益目的事業として「事業創発支援事業」を開始した。

ものづくり支援事業では、食品分野の試験研究として、鹿追町等との共同研究によるチョウザメ加工食品の開発や、地域オリジナルの有用微生物を活用した発酵食品製造技術の開発等に取り組み、新商品開発や地域資源の有効活用等を支援した。また、機械・電子分野の試験研究として、画像処理技術を活用した農産物選別装置や車両洗浄装置の開発、ISOBUS（農業機械用通信の国際規格）に対応した農業機械の開発・普及促進等に取り組み、生産現場の課題解決に資する装置・機械開発を支援した。あわせて、両分野の技術支援として、技術指導・企業相談対応、検査分析・機器利用依頼の受け入れ、技術講習・研修（セミナー等）の開催、情報発信・成果普及等に取り組んだ。

地域連携支援事業では、経営課題等に関する企業相談対応のほか、試験研究・技術支援により開発・実用化された製品等の販路拡大を目的として、首都圏で開催された「FOODEX JAPAN（国際食品・飲料展）」「FOOMA JAPAN（国際食品工業展）」等に出展した。また、地域ブランドの形成・確立を目的として、「十勝ブランド」を推進した。

事業創発支援事業では、地域産業の担い手育成による創業・起業・事業創発の促進を目的として、「十勝ビジネス支援プロジェクト2018」と題し、人材育成のための奨学金・助成金等の給付事業を実施した。また、事業化の加速支援を目的として、地域の産業支援機関等との連携や、公益財団法人起業家支援財団が有していた人的ネットワークの活用により、ビジネスプランの構築・強化や不足要素の補強支援等を実施するプログラム「トカチコネクション」を運営した。

その他、収益事業として、地域企業等からの申込みによる受託事業を受け入れるほか、新たな取り組みとして、食品分野の技術ニーズに対応可能な評価事業（食品関連評価事業）を開始した。また、平成30年3月に全面リニューアルした財団ホームページを活用し、オウンドメディアやSNS等を組み合わせる形で、効果的・積極的・広範囲な情報発信を図った。

以上の取り組みを通じ、財団の「強み」を活かした一体的な産業支援と地域連携の拡大・強化を推進し、「十勝における産業支援プラットフォーム」として、地域の産業活性化に貢献した。

そして、新年度からは現在の事業に加え、新たに「十勝ものづくり総合支援補助金」「事業創発拠点の管理運営」「海外先進地視察」の事業を開始し、地域のものづくり技術力の高度化や事業創発等を一層促進する所存である。

## 2 ものづくり支援事業 【公益目的事業1】

### (1) 試験研究

食品分野及び機械・電子分野の技術的課題の解決や新製品開発等を促進するため、地域連携を図り、必要に応じて外部資金事業を活用する形で、地域ニーズに対応したテーマに関する実用的な研究開発を実施した。また、その成果を地域へ積極的に発信することで、成果の浸透・定着及び利活用促進を図り、企業等による新事業創出等を推進した。

これにより、地域のものづくり技術力を強化し、質の高い価値創出・向上の促進を図った。

＜食品分野＞（バイオ関連を一部含む）

表1（共同研究等のテーマ一覧）

テーマ	
1	<p>チョウザメを原料とする加工品の開発（平成29～30年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究者：鹿追町、鹿追町チョウザメ研究会</li> <li>・内容：鹿追町で養殖しているチョウザメの加工品開発を目的とし、キャビアおよび魚肉を活用した加工品の製法を確立した。また、実製造に向けた連携体制を構築した。</li> </ul>
2	<p>十勝産小麦の機能性に関する知見の取得（平成29～30年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究者：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）</li> <li>・内容：小麦に含まれるフェルラ酸化合物について分析し、共同研究者とともに分析方法の妥当性確認を行った。また、小麦の品種別、加工品、加熱加工等による影響について知見を得た。</li> </ul>
3	<p>新規有用微生物による発酵食品の研究開発（平成30年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究者（協定研究）：農研機構北海道農業研究センター、株式会社光英科学研究所</li> <li>・内容：十勝地域で栽培されていた大豆の花から酵母を分離、同定し、美肌効果が期待されているグルコシドセラミド生成について知見を得た。</li> </ul>
4	<p>山ワサビを活用した商品開発（平成30年度～）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携先：株式会社ヤマオ</li> <li>・内容：山ワサビの辛み成分を指標とした評価分析を行い、辛みの保持に効果がある加工法について知見を得た。この知見を基に、地域企業の商品化に繋がった。</li> </ul>
5	<p>「食べやすさ」に着目した雑豆レトルトスープの開発と栄養機能性の検証（平成30年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究者：帯広大谷短期大学、株式会社丸勝</li> <li>・内容：雑豆レトルトスープのレトルト条件を確立し、技術移転を行った。試作品の嗜好調査を行った結果、食味は高評価を得た。今後、実用化に向けた課題を検討する。</li> </ul>
6	<p>山幸酵母に関する研究（平成30～31[令和元]年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究者：国立大学法人帯広畜産大学</li> <li>・内容：十勝地域で分離された酵母を用いて発酵食品の検討を行った結果、製パンへの応用に効果が見られたことから、特許を共同出願する予定としている。また、地域のベーカリーへの成果普及を実施している。</li> </ul>

表 2（受託事業の内容一覧）



委託者		事業・業務名および内容
1	農林水産省	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業（平成 26～30 年度） 「北海道産大豆の高品質・安定供給を目指した豆腐・納豆用品種の開発」 ＜道総研農業技術研究本部、北海道とのコンソーシアムにより実施＞ ・内容[当財団の分担業務]：有望系統の食味関連成分等の分析・評価
2	公益財団法人 日本豆類協会	餡粒子の機能性に関する調査研究（平成 30 年度） ・内容：雑豆類の加工品における機能性の検討
3	地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構（道総研）	食の戦略研究～十勝資源を活かした地域食シーズ開発（平成 29～30 年度） ・内容：十勝産農産物ブランド化の検討、金時新品種の普及促進
4	農研機構	革新的技術開発・緊急展開事業（うち経営体強化プロジェクト） 「地場産乳酸菌を用いたブランドチーズ製造技術の開発」 （平成 29～31[令和元]年度） ＜農研機構、道内研究機関等とのコンソーシアムにより実施＞ ・内容[当財団の分担業務]： スターター候補乳酸菌の評価・選定ならびに試作チーズ味質評価
5	国立研究開発法人 科学技術振興機構 （J S T）	小豆水溶性多糖類を活用した沈殿防止剤代替品の開発検討 （平成 29～30 年度） ・内容：小豆製餡煮汁からの水溶性多糖類の精製条件の検討、および乳性 飲料の天然系沈殿防止剤の開発

表 3（活用した補助金の一覧）

補助事業者	事業名・テーマ名
経済産業省 （北海道経済産業局）	戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業） 「医薬品・再生医療向け細胞培養用新規原料 『ウシ加工処理血清』の安定製造技術開発」 （平成 30～32[令和 2]年度）  （共同体構成員：株式会社ジャパン・バイオメディカル、 有限会社ジャパン・ラム、兵庫医科大学）

<機械・電子分野>

表 4 (共同研究等のテーマ一覧)

テーマ	
1	<p>血乳検査装置の事業化（平成 30 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究者：株式会社電制</li> <li>・内容：平成 29 年度に試作した小型低コスト試作機について、農業団体等の協力を得て血液検出確度に関する評価試験を実施し、検出精度改善のための改良と評価を重ねた。展示会「FOOMA JAPAN 2018（東京都）」及び「国際農業機械展（帯広市）」に出展し、PR とユーザーニーズの収集を実施した。また、平成 31 年度からのユーザー評価に供試するための改良型小型低コスト試作機の開発と試作を行った。ユーザー評価に先立ち、道内の酪農関係の大学との研究開発推進体制や、民間保険会社を交えた事業推進体制を構築し、広範なユーザーによる評価や意向調査を実施するための環境整備を行った。</li> </ul>
2	<p>インゲンマメゾウムシ寄生子実選別用光学選別装置の開発（平成 28～30 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究者：株式会社安西製作所北海道支店（協力機関：道総研十勝農業試験場）</li> <li>・内容：十勝の豆類調整施設への導入を前提とした、毎時 1 トン程度の高速撮影が可能な透過光による撮影機構、および高速度形状認識処理が可能な組込システム（電子制御基板）を開発した。また、これらを搭載してインゲンマメゾウムシの寄生した被害粒を選別する光学選別装置の原理試作機を開発し、画像処理システムの処理速度やタイミング等の主要性能を評価すると共に、市場導入に向けた課題を洗い出した。</li> </ul>
3	<p>I S O B U S 対応トラクター用のリモコン装置の開発（平成 29～30 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究者：株式会社フクザワ・オーダー農機</li> <li>・内容：I S O B U S を搭載した新型トラクターに対応した、作業機側からトラクター動作を制御するための安全装置を開発した。非常停止、アクセル、クラッチ、主変速、PTO、リアヒッチの遠隔操作が可能な装置を試作し、評価を実施した。本装置は既に製品化され、ヤンマーアグリジャパン（株）を通じて市販されている。農業生産者の導入意欲も高く、平成 30 年 11 月の展示会発表以降、既に 20 セットを出荷している。</li> </ul> 
4	<p>精密水流制御と画像処理技術を統合した農産物運搬用車両洗浄装置の開発 (平成 30～31[令和元]年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施機関：株式会社北土開発、株式会社共成、株式会社カムイ電子、国立大学法人帯広畜産大学</li> <li>・内容：シストセンチュウ拡散防止対策用の高性能な農作物運搬用車両洗浄装置を開発することを目標に、高度な水流制御を実現するための流体シミュレーション、評価検証のための車両洗浄システムの試作、画像処理によるタイヤ検出機能の開発などを実施した。「国際農業機械展」に技術展示し、PR とユーザーニーズの収集を行った。</li> </ul> 



道内ものづくり中小企業の連携による農業機械の高機能化と電動化（平成 29～30 年度）

- ・連携事業者：株式会社フクザワ・オーダー農機、三陽商事株式会社、株式会社カムイ電子
- ・内容：パワートレインの電動化による作業環境の改善、電子制御装置を搭載した機体制御機能の高度化により、生産性の向上と作業者の疲労度低減を実現する新型立植え式電動長いもプランターを開発した。また、「国際農業機械展」に試作機を出展し、農業生産者らの意見や提案による改良を加えた。生産者の強い要望により、正式発売開始前に製品を納入開始しており、好調な滑り出しとなっている。

## 立植式「電動」長いもプランター

< 試作開発機 > のご紹介



種芋移植時の長いも生産者の悩みを解決！！

- ・立姿勢で作業でき、**肩・腰・膝・首等の疲労度を軽減！**
- ・電動なのでエンジン音等の**ノイズが発生せず静かな作業環境！**
- ・畝列自動追従操舵システムの搭載で、**畝列にピッタリ追従します！**
- ・株間をスプロケットで**簡単に、自由に調整可能！**
- ・ガソリン**給油の費用、手間がかかりません！** ※天候により充電が必要になる場合があります



立植式で疲労度軽減！！  
ソーラーパネルを積んでいます



コンテナ積載スペース  
積み下ろしもラクラク



畝列検知センサー  
畝列に追従します



覆土機構  
畝をきれいに覆土します

### 主要諸元

全長：3 2 5 0 mm  
全高：2 6 0 0 mm  
全幅：寄せ畝用 2 6 0 0 mm  
均等畝用 2 0 0 0 mm

連続走行可能時間：  
平坦な圃場で150間片道分の種を積載して使用した場合、最低連続3時間以上。  
また、天候により大きく変わりますが条件が良ければ、商用電源又は発電機による充電無しで種付から終了まで連続使用できます。

※注 バッテリー寿命は管理状況により変動しますが、概ね3～5年です。

### 立植式長いもプランターの高性能化・電動化コンソーシアム

< 株フクザワ・オーダー農機（芽室町）・三陽商事株（札幌市）・株カムイ電子（登別市）・（公財）とから財団（帯広市） >

○お問合せ：公益財団法人とから財団 電話 0155-38-8850（担当：事業部地域連携支援課）

「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」（全国中小企業団体中央会）の助成金事業の支援を受け開発しています。



表 5（活用した補助金・助成金の一覧）

補助・助成事業者	事業名・テーマ名
公益財団法人 日本豆類協会	豆類振興事業助成金（試験研究）（平成 28～30 年度） 「インゲンマメゾウムシ寄生子実選別用光学選別装置の開発」
公益財団法人 北海道中小企業 総合支援センター	北海道中小企業応援ファンド事業助成金（平成 29～30 年度） 「I S O B U S 対応トラクター用のリモコン装置の開発」
全国中小企業団体中央会	ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業助成金 （平成 29～30 年度） 「道内ものづくり中小企業の連携による農業機械の高機能化と電動化」 （連携事業者：株式会社フクザワ・オーダー農機、 三陽商事株式会社、株式会社カムイ電子）
経済産業省 （北海道経済産業局）	戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業） 「精密水流制御と画像処理技術を統合した 農産物運搬用車両洗浄装置の開発」 （平成 30～31[令和元]年度） （共同体構成者：株式会社北土開発、株式会社共成、 株式会社カムイ電子、国立大学法人帯広畜産大学）

表 6（I S O B U S 普及推進会の運営支援）

区分	内容
目的等	十勝の主要産業の一翼を担う農業機械産業を中心に、I S O B U S に対応した農業機械の普及を促進するために設立された産学官連携体「I S O B U S 普及推進会」について、試験研究の一環として、その運営を支援している。
設立年月日	平成 30 年 8 月 9 日
構成メンバー	<p>【役員】（3 名） 会長：長澤 秀行（当財団理事長） 最高顧問：野口 伸（北海道大学 農学研究院 副研究院長・教授） 監事：山田 政功（十勝農業機械協議会 会長）</p> <p>【アドバイザー】（7 名） 北海道大学、帯広畜産大学、農研機構農業技術革新工学研究センター（2 名）、 農研機構北海道農業研究センター、道総研工業試験場、 株式会社農業情報設計社</p> <p>【支援機関】（7 機関） 上記アドバイザー6 機関及び当財団</p> <p>【後援団体】（6 機関） 経済産業省北海道経済産業局、北海道、北海道経済連合会、帯広市、 北海道農業機械工業会、公益財団法人北海道科学技術総合支援センター</p> <p>【会員】（32 社） 十勝および道内に拠点を有する作業機メーカーなど</p>
主な活動実績	<p>平成 30 年 8 月 9 日：設立総会開催（出席者 34 名、議決権行使 10 社） 平成 30 年 9 月 27 日：キックオフセミナー開催（参加者 67 名） 平成 30 年 10 月 4 日：活動意向調査（調査時点の会員 31 社対象） 平成 31 年 1 月 17 日：ワークショップ（技術研修）</p>

## (2) 技術支援

### ①技術指導・企業相談

企業等による技術的課題の解決や新製品開発等の促進を図るため、研究員による技術相談を実施するとともに、必要に応じて研究員を企業等の生産現場等に派遣し、直接的な指導及び助言を実施した。

これにより、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、研究開発・技術支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携を強化した。

表 7 (技術相談件数) [現地技術指導を含む]

年度	相談件数	相談内訳	
		食品	機械・電子
30	956	624	332
29	902	635	267
28	918	653	265

表 8 (市町村別相談件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
345	37	8	16	13	29	24	136	18	14
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
29	8	41	11	8	33	13	3	4	166

表 9 (ものづくりワンストップ相談会の開催実績)

開催日	相談対応職員	共催
H30. 6. 14    H30. 9. 11 H30. 11. 28   H31. 3. 13	四宮 紀之	帯広信用金庫・帯広畜産大学・とかち財団

表 10 (講師・アドバイザー派遣実績)

区分	派遣日	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師派遣	H30. 6. 6	北海道立農業大学校 畜産経営学科講義 「農畜産加工起業概論」	本別町	佐々木香子
講師派遣	H30. 6. 22	北海道立農業大学校 畑作園芸経営学科講義 「農畜産加工起業概論」	本別町	佐々木香子
アドバイザー派遣	H30. 11. 29 H31. 1. 23 H31. 3. 8	音更池田共同研究特産品開発のための ワークショップ、検討会議、開発会議	音更町	四宮 紀之

区分	派遣日	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師派遣	H31. 2. 27	北のものづくりセミナー 「新型トラクター向け緊急停止装置の開発」	札幌市	松原 慎吾
講師派遣	H31. 3. 15	十勝農業機械化懇話会 総会・講演会 「I S O B U S の普及で実現する 省力化・自動化・深化」	帯広市	田村 知久

表 11（技術指導を行った地域活性化プロジェクト）

プロジェクトの内容		
<p>株式会社明治とフードバレーとから推進協議会の 包括連携協定に基づく 「十勝ヨーグルトプロジェクト」への技術支援</p> <p>【目的】 十勝の乳の価値向上による産業振興・地域活性化</p> <p>【内容】 株式会社明治が発見した十勝産生乳由来の新乳酸菌「十勝ミルク乳酸菌 TM96」を使用したヨーグルト製品の開発</p> <p>【主な支援】 製品開発に向けたプロジェクト参画事業者（十勝地域の乳製品製造企業）への技術指導</p>		
		 <p>平成 31 年 2 月 25 日 プロジェクト記者発表会 （帯広市にて開催）</p>
 <p>「明治北海道十勝 濃厚マイルドヨーグルト」</p> <p>株式会社明治</p>	 <p>「まいんど飲むヨーグルト」</p> <p>株式会社あすなろファーマーリング （清水町）</p>	 <p>「十勝野ヨーグルト」</p> <p>株式会社十勝野フロマージュ （中札内村）</p>

## ②検査分析

企業等の生産・製造活動の側面的支援を図るため、企業等からの依頼により、原材料・試作品・製品等の品質評価等に係る試験・検査及び分析、成績書の発行を実施した。  
これにより、企業等の課題解決等を促進し、ものづくり技術力の強化を図った。

＜食品分野＞（食品の成分分析や理化学測定、微生物検査）

表 12（検査分析件数）

年度	検査分析件数	内訳		
		依頼試験	依頼分析	謄本発行
30	45	24	21	0
29	98	82	15	1
28	37	25	12	0

※主な依頼試験項目：一般生菌数、大腸菌群、耐熱性菌数、真菌数

※主な依頼分析項目：灰分、水分、タンパク質、脂質、無機質、食物繊維、糖類 等

＜機械・電子分野＞（鉄筋やコンクリートの強度試験、パークゴルフ用品の検定試験）

表 13（検査分析件数）

年度	検査分析件数	内訳		
		引張強度試験	圧縮試験	パークゴルフ用品
30	365	205	11	149
29	511	221	90	200
28	381	166	40	175

### ③技術講習・研修

ものづくりに関する技術者の育成を図るため、基礎・応用技術や商品開発等の知識習得を目的とした、専門的かつ実践的な技術者養成セミナー・講習会・研究会を実施するとともに、研究員による直接的な指導により技術習得を促進するため、企業等の技術者を研修生として受け入れた。

これにより、十勝の産業を支える技術者の実践的な人材育成を図った。

#### <食品分野>

#### [1] 微生物検査に関する実技講習会

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、食品の品質・衛生管理に必要な微生物検査技術の習得を目的とした、少数限定の実技講習会を開催した。

(会場：食品加工技術センター)

表 14 (講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
H30. 6. 6 H30. 6. 8	「実践、微生物検査の基礎」(初級編：一般生菌数、大腸菌群) 講師：事業部ものづくり支援課 食品グループ 研究員 高谷 政宏	8
H30. 6. 19 H30. 6. 21	「実践、微生物検査の基礎」(中級編：黄色ブドウ球菌、サルモネラ) 講師：事業部ものづくり支援課 食品グループ 研究員 高谷 政宏	5

#### [2] 十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会

十勝地域のナチュラルチーズ業界における品質管理体制の強化を図るため、チーズ製造および品質管理に関する知識・情報等の習得や意見交換を目的とする研究会を開催した。

(会場：食品加工技術センター)

表 15 (研究会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
H30. 10. 24 ～H30. 10. 25	第 33 回研究会 「チーズプラトール講習会」(10/24) 会員チーズ工房訪問による技術支援 (10/25) 講師：おもてなし教室「Ikuko's Table」 代表 高橋 郁子 氏	14
H31. 2. 27	第 34 回研究会 「チーズ工房の新築・増築体験談から学ぼう！」(第 1 回) 話題提供：有限会社NEEDS 工場長 磯部 公児 氏 有限会社半田ファーム 半田 康朗 氏	12

### [3] とちまち宇宙日本食セミナー

十勝地域における宇宙日本食開発の可能性を探るため、北海道十勝総合振興局等との共催により、宇宙飛行士が宇宙日本食に求めるもの、宇宙日本食認証制度の仕組み、宇宙日本食に対するJAXAの考え方等を紹介するセミナーを開催した。

表 16（講習会開催実績）

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
H31. 3. 1	「とちまち宇宙日本食セミナー」 講師：国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA） 研究開発員 野上 和真 氏	28

### [4] 食品メーカーのための観光地マーケット集客セミナー

十勝地域への観光客をターゲットとした土産品開発・販売による観光地マーケットの獲得を図るため、道外の事例紹介を交え、成功ポイントの理解促進を目的とするセミナーを開催した。（会場：食品加工技術センター）

表 17（講習会開催実績）

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
H31. 3. 26	「食品メーカーのための観光地マーケット集客セミナー」 講師：株式会社船井総合研究所 地域食品振興グループ 食品メーカーチーム 久嶋 裕介 氏	12

### [5] HACCP支援者・指導者研修

地域食品企業のHACCP導入を促進するにあたり、支援者・指導者の技術力向上を図るため、とちまち高等教育推進まちづくり会議（事務局：帯広市）との共催により、演習を交えた研修会を開催した。（会場：十勝産業振興センター）

表 18（講習会開催実績）

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
H30. 8. 30 ～H30. 8. 31	「HACCP支援者・指導者研修」 講師：一般財団法人日本食品分析センター 教育・研修部 副部長 植田 浩之 氏	12

### [6] 技術研修生の受け入れ

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、企業等からの技術研修生の受け入れ等に取り組み、食品加工技術者の技術習得を促進した。

表 19（研修生受け入れ実績）

受入期間	研修内容	受入人数
H30. 11. 6 H30. 11. 8	微生物検査技術の習得（一般生菌数、大腸菌群等）	2

<機械・電子分野>

[1] 3次元CAD講習会

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援し、機械製品開発ツールの利活用促進等を図るため、3次元CADおよび3Dプリンタの操作技術の習得を目的とした、少数限定の実技講習会を開催した。(会場：十勝産業振興センター)

表 20 (講習会開催実績)

開催期間	テーマ等	受講者数
H30. 10. 23～H31. 1. 29 (全 13 回、毎週火曜開催)	「3次元CAD講習会 導入編 ～SolidWorks2010 と 3Dプリンタを使ってみよう～」	5
H30. 11. 8～H31. 2. 14 (全 13 回、毎週木曜開催)	講師：事業部ものづくり支援課 機械・電子グループ 研究員 西條 大輔	5

[2] ステンレス鋼TIG溶接講習会

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援するため、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）との共催により、製造における溶接技術の習得を目的とした、少数限定の実技講習会を開催した。(会場：十勝産業振興センター)

表 21 (講習会開催実績)

開催期間	テーマ・実施内容等	受講者数
H30. 10. 17 ～H30. 11. 14 (全 5 回)	TIG溶接に関する講義、実習、課題製作 (溶接機・トーチ・タングステン電極・アース及びガス調整等) 講師：株式会社ショウトク 代表取締役 松岡 真勝 氏	5

[3] オンデマンド型技術セミナー

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援するため、2次元CADやマイコンの操作技術の習得を目的とした、企業ニーズに特化した内容で開催するオンデマンド型の実技講習会を開催している。(会場：十勝産業振興センター)

表 22 (セミナー開催実績)

開催期間	テーマ等	受講者数
H30. 4. 11 ～H30. 4. 12 (全 2 回)	「Jw__CADによる2次元設計」 講師：事業部ものづくり支援課 機械・電子グループ 研究員 西條 大輔	1
前年度より 継続中 (月 2 回程度)	「C言語によるマイコンプログラミング」 講師：事業部ものづくり支援課 機械・電子グループ 研究員 松原 慎吾	2



開催期間	テーマ等	受講者数
5月より開始 (月2回程度)	「CANo.eを使用したCANメッセージの解析」 講師：事業部ものづくり支援課 機械・電子グループ 研究員 松原 慎吾	2
9月より開始 (週1回程度)	「無料CADを使用したプリント基板設計」 講師：事業部ものづくり支援課 機械・電子グループ 研究員 菅原 崇	1

#### ④情報提供・成果普及

ものづくりに関する有用な技術情報を発信するとともに、成果発表会や技術研究会の開催、展示会への開発製品の出展（※）等により、試験研究・技術支援成果を普及した。

これにより、事業成果等の広範囲な普及を進め、成果の利活用を促進するとともに、財団事業への認知度・理解度の向上を図った。

※公2地域連携支援（2）－①「展示会・商談会等への出展」と連動して実施

表 23（十勝圏地域食品加工技術者の会 開催実績）

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
H30. 11. 26	鹿追町におけるバイオマス有効利用の取り組み	鹿追町環境保全センター	7
H31. 2. 2	「十勝ブランドグランプリ 2019」参加	とかち館（帯広市）	7

表 24（成果発表会の開催実績）

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
H31. 3. 14	十勝産業振興センター	とかち財団「平成 30 年度成果発表会」 【試験研究・技術支援に係る成果発表、展示等】 ＜食品分野＞ ・鹿追町の挑戦 ～バイオマスの取り組みとチョウザメ加工の展望～ ・十勝産小麦の機能性に関する知見の取得 ＜機械・電子分野＞ ・ISOBUS 普及推進会の活動報告 ・新型トラクター向け緊急停止装置の開発 (この他、事業創発支援に関する取り組みを発表)	85



# 平成 30 年度成果発表会 実施状況

表 25 (スクラム十勝シンポジウムの共催実績)

開催日	発表内容	開催地	発表者等
H30. 11. 2	スクラム十勝シンポジウム 2018 ー今後の十勝の農畜産業の繁栄に貢献する I C T ー 「画像処理技術を応用した車両洗浄装置」	帯広市	菅原 崇

表 26 (関係機関等主催事業等での発表・P R 実績)

開催日	事業・会議等の名称及び P R 内容	開催地	発表者等
H30. 4. 25	道総研食品加工研究センター成果発表会 口頭発表 「小豆由来の多糖類に関する研究」	札幌市	佐々木香子
H30. 7. 21	帯広地域クラウド交流会実行委員会 クラウド勉強会 「十勝地域の産業支援プラットフォーム」	帯広市	葛西 大介
H30. 8. 30	北海道 平成 30 年度食の安全・安心セミナー 「財団の事業概要と支援メニューについて」	帯広市	葛西 大介
H30. 10. 24	北海道コーディネータ・ネットワーク・フォーラム 当財団の取り組み紹介	札幌市	梅沢 晃
H30. 12. 2	日本食品科学工学会 2018 年北海道支部大会 口頭発表 「地域食品由来乳酸菌 <i>Lactococcus lactis</i> subsp. <i>lactis</i> TF42 の乳の発酵適性」	札幌市	高谷 政宏
H30. 12. 12	産業技術連携推進会議 北海道地域部会 口頭発表 「画像処理技術を応用した車両洗浄装置」 「I S O B U S 普及推進会の活動報告」	旭川市	松原 慎吾 菅原 崇
H31. 1. 30	独立行政法人産業技術総合研究所 北海道センター ワークショップ in 帯広 ポスター発表 「血乳検査装置の開発」 「新型トラクター向け緊急停止装置の開発」	帯広市	四宮 紀之 松原 慎吾

開催日	事業・会議等の名称及びPR内容	開催地	発表者等
H31. 2. 6	北のものづくりネットワーク会議 当財団の取り組み紹介	札幌市	梅沢 晃
H31. 2. 19	グローバル・ネットワーク協議会 再生医療分野 支援人材ネットワーク構築会議 口頭発表 「医薬品・再生医療向け細胞培養用新規原料 『ウシ加工処理血清』の安定製造技術開発」	大阪府	梅沢 晃

表 27（専門誌への寄稿実績）

掲載時期	掲載誌等の名称、寄稿内容等
平成 30 年 8 月号	「食品と開発」 Vol. 53 No. 8 （発行者：UBM ジャパン株式会社） 寄稿内容：「食品ロス削減も見据えた賞味期限延長に関する検討」 事業部ものづくり支援課 食品グループ 研究主査 四宮 紀之
平成 30 年 9 月号	「食品と開発」 Vol. 53 No. 9 （発行者：UBM ジャパン株式会社） 寄稿内容：「ブラウンスイス牛肉を原料とした加工品の開発と肉質評価」 事業部ものづくり支援課 食品グループ 課長 川原 美香

表 28（ホームページの公開・運営状況）

区分	公開内容
とちかち財団 ホームページ	 <p><a href="http://www.tokachi-zaidan.jp/index.php">http://www.tokachi-zaidan.jp/index.php</a></p> <p>食品加工技術センター・十勝産業振興センターの施設概要紹介 業務内容、研究成果、設備機器一覧、各種書式のダウンロード等</p>
十勝の食材 データベース	 <p><a href="http://tech-tokachi.jp/food/index.php">http://tech-tokachi.jp/food/index.php</a></p> <p>十勝地域の業務用食材の取扱い企業の紹介</p>

#### ⑤外部資金を活用しての技術支援

北海道の「参入促進支援事業」補助金を活用し、道内産業支援機関との連携により、地域のものづくり企業のニーズに対応した技術開発・課題解決等の支援による食関連機械分野への参入促進や人材育成等に取り組んだ。

表 29（参入促進支援事業 地域マネジメント事業）

補助元	事業名
北海道	「参入促進支援事業（地域のものづくり技術力向上）」 内容：地域のものづくり企業のニーズに対応した技術開発・課題解決等の支援による、食関連機械分野への参入促進および雇用創出 期間：平成 28～30 年度

### (3) 施設の管理運営

ものづくりに関する試験研究・技術支援を効果的に実施するため、技術支援施設（北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、十勝産業振興センター）の保守管理、設備・機器の利用提供等を実施した。

これにより、施設の基本機能を十分に発揮し、利用者サービスの向上を図った。

#### ①北海道立十勝圏地域食品加工技術センター（指定管理業務）

表 30（施設利用件数）

年度	利用件数	内訳	
		機器等	研修室
30	317	314	3
29	499	497	2
28	365	358	7

表 31（施設利用時間）

年度	利用時間	内訳	
		機器等	研修室
30	2,095	2,083	12
29	1,530	1,525	5
28	1,169	1,128	41

#### ②十勝産業振興センター（財団所有施設）

表 32（設備機器利用件数等）

年度	利用件数	利用時間
30	138	498
29	195	914
28	208	4,538

表 33（十勝地域機械製品開発ツール普及促進事業）

委託者	内容	ツール利用件数
帯広市	3Dプリンタ・CAEツール等の利活用促進・保守管理等	12

表 34（会議室利用件数）

年度	利用件数	内訳	
		大会議室	中会議室
30	416	215	201
29	481	237	211
28	586	244	203

表 35（会議室利用人数）

年度	利用人数	内訳	
		大会議室	中会議室
30	18,768	12,541	6,227
29	19,081	13,320	5,552
28	22,182	13,817	7,109

※平成 29 年度までの会議室利用実績には共同研究室の利用件数を含む  
 （帯広地域雇用創出促進協議会の入居に伴い、平成 29 年 7 月 1 日より一般への利用提供は当面の間休止としている）

### 3 地域連携支援事業 【公益目的事業2】

#### (1) 企業相談

企業等が抱える経営課題の解決や、創業・起業・事業創発の促進を図るため、商工団体・産業支援団体・金融機関等の関係機関と連携・協力し、産業支援の経験が豊富な職員による経営・事業創発・知的財産等に関する相談を実施した。

これにより、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、事業化支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携を強化した。

表 36 (企業相談件数) [技術関係を除く]

年度	相談件数	相談内訳							
		起業 創業	人材 育成	商品 開発	広報 拡販	資金 獲得	知的 財産	地域 連携	その他
30	171	11	4	27	15	12	22	59	21

(参考：直近2ヶ年の相談件数)

年度	相談件数	相談区分				
		知財関係	受発注関係	創業関係	経営関係	その他
29	287	22	48	35	36	146
28	171	41	24	2	7	97

#### (2) 開発商品等のPRおよび販路拡大

##### ①展示会・商談会等への出展

試験研究・技術支援成果の利活用等により実用化された地域発の商品・技術等をPRし、その販路拡大を支援するため、首都圏等で開催される展示会・商談会等に出展した。

これにより、マーケットが求める質の高い「価値」を効果的・広域的にPRし、一層の販売促進・販路拡大を図るとともに、地域内外における連携を強化した。

※公1ものづくり支援(2)－④「情報発信・成果普及」と連動して実施

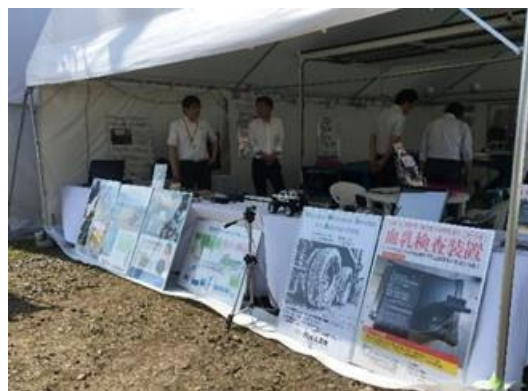
表 37 (展示会出展事業)

展示会の名称・開催地	期間	共同出展者
FOOMA JAPAN 2018 (東京都 東京ビッグサイト)	H30. 6. 12～H30. 6. 15	3 社
第 34 回国際農業機械展 in 帯広 (北愛国交流広場)	H30. 7. 12～H30. 7. 16	3 社
FOODEX JAPAN 2019 (千葉県 幕張メッセ)	H31. 3. 5～H31. 3. 8	17 社・団体

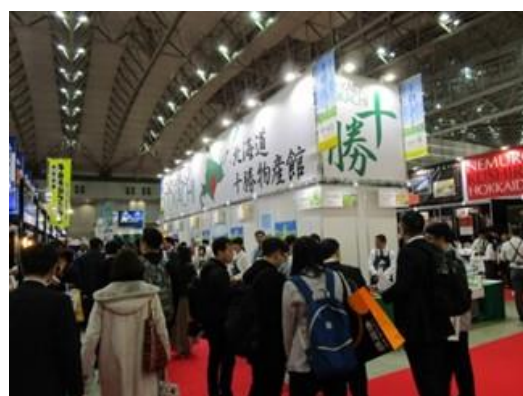




F O O M A J A P A N 2018（国際食品工業展） 出展状況



第34回国際農業機械展 in 帯広 出展状況



F O O D E X J A P A N 2019（国際食品・飲料展）「北海道十勝物産館」出展状況

表 38（首都圏での事業PR実績）

開催日・期間	内容
H30. 11. 11	「アルプスロボットコンテスト」十勝ブースへの出展 主催：株式会社アルプス技研（社員向けイベント） 会場：同社第1ビル（神奈川県相模原市）



## ②十勝ブランドの推進

地域の食関連商品について、高品質や安全性の客観評価と維持向上による信頼性の確保をもって高付加価値化を推進し、販売促進や地産地消、また地域事業者の品質管理技術等の向上を図るため、食に関する「十勝ブランド」認証制度の運営を支援した。

これにより、さらに質の高い「価値」となり得る地域ブランドの形成・確立を図るとともに、認証制度・認証品の効果的なPRや事業者間の連携を促進した。

表 39（十勝ブランド認証状況）

[平成 31 年 3 月末日現在]

品目	チーズ	パン	菓 子	乳製品	合計
工房数	5	10	9	9	29（重複 4）
品目数	33	27	21	22	103

表 40（十勝ブランド 主な活動状況）

開催日・期間	内容
H30. 5. 12～H30. 5. 13	イオン北海道「十勝フェア」出展
H30. 6. 2	平成 29 年度定期総会の開催
H30. 6. 20、H30. 6. 22	官能検査の実施（一般・専門家）
H30. 7. 14～H30. 11. 4	十勝ブランドスタンプラリーの開催
H30. 7. 23	平成 30 版パンフレットの配布開始
H30. 9. 1～H30. 9. 2	「とかちマルシェ」出展（11 工房）
H30. 10. 17、H30. 11. 27、 H31. 1. 27、H31. 3. 18	4 部会合同部会の開催
H30. 10. 28	「フードバレーとかちマラソン」での出品（パン）
H30. 12. 19～H30. 12. 20	関係機関に対するチーズ斡旋販売（5 工房）
H31. 2. 2	「十勝ブランドグランプリ」の開催 （参加工房 17、出品数 59、来場者 213）



「十勝ブランドグランプリ」実施状況

### (3) 地域連携の促進支援

事業創発・「売れる」ものづくり・販路拡大等に有効な地域連携・人的ネットワーク構築の促進を図るため、意見交換や情報共有による相互理解、必要な知識の習得、共通課題の検討、販売・マーケティング力の向上等を目的とした「交流の機会づくり」に取り組んだ。また、関係機関等の主催する会議等へ積極的に参画・協力した。

この他、十勝産業振興センターの1階を「コワーキングサロン」として開放し、フリーWi-Fiサービスを提供する等、ビジネス利用の交流拠点化を図った。

これにより、十勝の「稼ぐ力」を創り出すためのプラットフォームの構築・形成を促進した。

表 41 (産学官交流会の開催状況)

開催日	開催場所	開催内容等	参加人数
H30. 9. 3	帯広畜産大学	国立大学法人帯広畜産大学「産学官金連携交流会」共催	100

表 42 (地域連携に関連する共同実施プロジェクト)

プロジェクトの内容
<p>フジッコ株式会社とフードバレーとかち推進協議会の包括連携協定に基づく 「大豆ピニートルシロップの生産および活用技術の開発」プロジェクトの共同実施</p> <p>実施期間：平成 27～31[令和元]年度（5 年間） 目的：十勝産農産物（大豆）の有効活用および高付加価値化 内容：今後の事業展開の検討に関する意見・情報交換 等</p>

## 4 事業創発支援事業 【公益目的事業3】

### (1) 人材育成（十勝ビジネス支援プロジェクト2018）

#### ①学生起業家支援

事業創発人材の持続的な育成を図るため、将来、十勝地域で創業・起業・事業創発を志す学生等に対し、奨学金を給付した。

これにより、創業等を目指す学生層の拡大を図り、起業家精神を持つ有能な人材の輩出を促進した。

表 43（学生起業家支援奨学金 募集・採用経過）

区分	内容
募集概要	対象者：十勝地域の経済社会の発展に寄与することを目的とし、将来事業を起こすことを目標としている大学生等 給付額：18万円
募集期間	平成30年5月30日～平成30年7月31日（約2ヶ月）
応募数	7件
選考過程	選考委員会による選考（外部委員3名） ・書類選考：平成30年8月2日～平成30年8月27日 ・プレゼンテーション選考：中止 ※平成30年9月11日（水）にプレゼンテーション選考を開催する予定であったが、9月6日に発生した北海道胆振東部地震に伴う停電の影響により中止し、書類選考結果等に基づき採用者を決定した。
奨学生プレゼン会	平成30年10月13日（土）開催

表 44（学生起業家支援奨学金 採用者[7名]）

氏名	所属・学年	ビジネスプラン名
岡 あゆみ	帯広畜産大学 畜産学部4年	me+you（みーとゆー）～うれしいと美味しいの足し算～ （十勝の生産者・農産物紹介販売サイトの運営）
川辺 匠真	帯広畜産大学 畜産学部4年	繁殖用高齢ヒツジを用いた畜産加工品 （発酵ドライソーセージ）の開発
讃岐 大	釧路工業高専 電子工学科5年	リユース携帯端末を用いた防犯ネットワーク
杉浦 大斗	帯広畜産大学 大学院畜産学研究科1年	4Rカスタムブレンド肥料
芹澤 健	帯広畜産大学 畜産学部2年	ブッシュクラフト・トカチ

氏名	所属・学年	ビジネスプラン名
高谷 龍馬	帯広畜産大学 畜産学部 4 年	「十勝ロイヤルマンガリッツァ」の周知に挑戦 ーPublic Relation（周知）活動への取り組みー
平田 博史	帯広畜産大学 畜産学部 4 年	十勝産スペルト小麦（古代コムギ）の生産・販売事業 ～十勝産スペルト小麦を全国へ発信～

## ②アーリーステージ事業者支援

事業化のスタートを支援するため、十勝地域で創業・新規事業を開始してから 5 年以内の事業者に対し、支援金を助成した。

これにより、アーリーステージ（成長初期段階）にある有望な事業者が実施する新事業の展開を促進した。

表 45（アーリーステージ事業者支援助成金 募集・採択経過）

区分	内容
募集概要	対象者：十勝地域に主たる事業所があり、事業開始後 1 年以上 5 年以内の事業者 助成金限度額：300 万円
募集期間	平成 30 年 5 月 30 日～平成 30 年 7 月 25 日（約 2 ヶ月）
応募数	30 件
選考過程	選考委員会による選考（外部委員 3 名） ・書類選考：平成 30 年 7 月 27 日～平成 30 年 8 月 8 日 ・プレゼンテーション選考：平成 30 年 8 月 29 日（水）
採択者説明会	平成 30 年 9 月 4 日（火）開催

表 46（アーリーステージ事業者支援助成金 採択者[3 事業者]）

事業者名	事業内容	助成金額
一般社団法人ミート・イメージ ジャパン （帯広市）	客観的肉質評価法のグローバル展開	2,867,225 円
十勝シティデザイン株式会社 （帯広市）	コミュニティ・ホテル型地域商社事業	2,047,987 円
株式会社エアシェア（帯広市）	小型航空機シェアリングサービスにおけるバックサイド開発及び営業活動	2,777,778 円

### ③十勝人チャレンジ支援

事業者等による新事業創発を支援するため、十勝圏域のチャレンジ意欲の高い産業人材に対し、国内外の先進地域等への調査研究資金を補助した。

これにより、事業創発に必要な技術導入や課題解決を促進し、地域の産業の発展に寄与できる積極的な人材を育成した。

表 47（十勝人チャレンジ支援事業補助金 募集・採択経過）

区分	内容
募集概要	個人版（調査・研究 2 週間程度、上限 100 万円） グループ版（5～10 名、調査・研究 1 週間程度、上限 500 万円）
募集期間	平成 30 年 5 月 30 日～平成 30 年 6 月 29 日（約 1 ヶ月）
応募数	個人版：8 件、グループ版：3 件
選考過程	選考委員会による選考（外部委員 3 名） ・書類選考：平成 30 年 7 月 26 日～平成 30 年 8 月 21 日 ・プレゼンテーション選考：平成 30 年 8 月 27 日（月）
採択者説明会	平成 30 年 9 月 12 日（水）開催

表 48（十勝人チャレンジ支援事業補助金 採択者[3 名及び 1 グループ]）

区分	事業者名	テーマ	調査先	補助金額
個人	山田 大介 （Tokachi Friend Ship、 帯広市） 横山 将一 （横山農場、池田町）	地域による技能実習生制度の円滑な活用環境整備にむけて	ベトナム	1,000,000 円
個人	竹中 章 （有限会社竹中農場、 音更町）	ヨーロッパにおけるホワイต์アスパラ生産体系の現状と十勝型大規模ホワイต์アスパラ生産体系の模索	オランダ ドイツ	559,877 円
個人	河田 利則 （株式会社とかち河田 ファーム、音更町）	キヌア栽培・調整工程の技術習得	ニュージーランド オランダ イギリス	840,713 円
グループ	十勝の森林資源を活用した新産業創出研究会 （10 名、足寄町、 代表者：佐野 大祐）	オーストリアの木材高度利用に範を取るカラマツ王国十勝の新たな森林総合産業創出	オーストリア	5,000,000 円

## (2) 事業化の加速支援

十勝地域における創業・起業・事業創発を具体的に支援するため、地域の産業支援機関等と連携し、ビジネスプランの構築・強化や不足要素の補強支援等を実施するプログラム「トカチコネクション」を運営した。

これにより、地域で創出された「事業の種」を育成し、起業家人材の抽出と創業・起業・事業創発を加速した。

表 49 (トカチコネクション 事業概要)

事業概要
<p>【連携機関】 帯広市・北洋銀行・北海道銀行・帯広信用金庫・帯広商工会議所・一般社団法人とかち地域活性化支援機構（とかち機構）</p> <p>【主な支援プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業候補者の定期的なヒアリング等による事業化支援（ラボ支援・アドバイザーマッチング）</li> <li>・「アーリーステージ事業者支援助成金」の採択事業者に対する支援</li> <li>・十勝起業家磨き上げ事業 (旧「起業家支援財団」が支援した起業家等の人的ネットワーク等を活用し、創業・起業者等の課題解決の糸口を探り当てる機会を形成し、事業創発の促進を図ることを目的とするビジネス交流の取り組みを、神奈川県と十勝で各 1 回実施した。)</li> </ul>

表 50 (トカチコネクション「ラボ」ヒアリング等実施実績)

開催回	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目	7 回目
開催日	H30. 6. 8	H30. 7. 17	H30. 8. 23	H30. 9. 27	H30. 10. 11	H30. 11. 26 ～11. 28	H31. 1. 23
案件数	2	2	2	3	2	1	7

表 51 (十勝起業家磨き上げ事業「神奈川開催」実施実績)

区分	内容
開催日・会場	平成 30 年 11 月 10 日（土） 横浜桜木町ワシントンホテル（神奈川県）
内容	ビジネス交流会（神奈川県の起業家による講演、十勝の起業家によるプレゼン等） 懇親会（起業家間の交流・意見交換等）
十勝の起業家によるプレゼン発表者	株式会社エアシェア（帯広市） 代表取締役 CEO 進藤 寛也 氏 十勝シティデザイン株式会社 代表取締役 坂口 琴美 氏 株式会社農業情報設計社（帯広市） 代表取締役 濱田 安之 氏



十勝起業家磨き上げ事業（神奈川開催）実施状況

表 52（十勝起業家磨き上げ事業「十勝開催」実施実績）

区分	内容
開催日・会場	平成 31 年 2 月 9 日（土） 帯広市役所／ミリオンサンテ（帯広市）
内容	ビジネス交流会（神奈川県の実業家による講演、十勝の実業家によるプレゼン等） 懇親会（実業家間の交流・意見交換等）
十勝の実業家によるプレゼン発表者	上士幌町役場企画財政課 地域おこし協力隊 島田 裕子 氏 有限会社竹中農場（音更町） 取締役 竹中 章 氏 十勝の森林資源を活用した新産業創出研究会（足寄町） 木村 祥悟 氏



十勝起業家磨き上げ事業（十勝開催）実施状況

表 53 「十勝ドリームマップ会議 2019」 実施実績)

区分	内容
主催	十勝ドリームマップ会議実行委員会 (帯広市、フードバレーとかち推進協議会、当財団)
開催日・会場	平成 31 年 2 月 27 日 (水) 北海道ホテル (帯広市)
内容	「100 人のイノベーターが描く十勝ドリームマップ会議」 ・ワークショップ「イノベーションの秘密基地」



100人のイノベーターが描く十勝ドリームマップ会議 実施状況

### (3) Web 等による情報発信

創業・起業・事業創発に関する支援制度や、十勝地域の起業家による取り組み等を広く周知・普及するため、Web 等を活用して積極的に情報発信した。

表 54 (Web マガジン・SNSによる情報発信)

区分	公開内容
Web マガジン 「十勝Z団」	 <p><a href="http://www.tokachi-zaidan.jp/tkzd.php">http://www.tokachi-zaidan.jp/tkzd.php</a></p>



区分	公開内容
とかち財団 公式 facebook	<a href="https://www.facebook.com/TokachiZaidan/">https://www.facebook.com/TokachiZaidan/</a>
とかち財団 公式 YouTube	<a href="https://www.youtube.com/channel/UCg5QPc2lcjBJIU5FzVrAw7Q">https://www.youtube.com/channel/UCg5QPc2lcjBJIU5FzVrAw7Q</a>
その他	「学生起業家支援奨学金」公式 Twitter <a href="https://twitter.com/ShogakukinKigyo">https://twitter.com/ShogakukinKigyo</a>

表 55（成果発表会の開催実績）

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
H31. 3. 14	十勝産業振興 センター	とかち財団「平成 30 年度成果発表会」 <b>【事業創発支援に係る成果発表】</b> ・十勝ビジネス支援プロジェクト 2018 (この他、試験研究等に関する成果を発表)	85

## 5 収益事業

事業者等からの申し込みによる受託事業を受け入れ、地域ニーズを幅広く反映させた技術力高度化等を図った。

また、収益事業における新たな取り組みとして、食品分野の技術ニーズに対応可能な評価事業（食品関連評価事業）を開始した。

表 56（主な受託事業一覧）

内容	
1	乳製品の殺菌比較試験
2	農産加工品等の品質評価試験
3	農業機械制御装置用新規電子回路の開発

表 57（食品関連評価事業主な受託事業一覧）

コース名	受入件数
賞味期限設定のための支援コース	4 件
味覚センサーを用いた味質評価コース	4 件

## 6 その他

北海道経済産業局との共催による中小企業向け支援制度説明会を実施するほか、地域内外からの視察を受入した。また、十勝地域の町村の関係機関・団体を実施した。

### （1）中小企業向け支援制度説明会

表 58（開催実績）

開催日	内容	共催
H31. 3. 6	ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業説明会	経済産業省 北海道経済産業局

### （2）視察受入

表 59（視察団体、内容等）

	受入日	団体名等	内容	人数
1	H30. 6. 13	斜里町商工会	食品加工技術センターの取組について	12
2	H30. 6. 26	兵庫県議会	起業支援、地域ブランド推進について	9
3	H30. 9. 3	帯広工業高等学校	十勝産業振興センターの取組について	42

受入日		団体名等	内容	人数
4	H30. 9. 25	帯広畜産大学	食品加工技術センターの取組について	61
5	H30. 10. 10	J I C A 研修員	とち財団の取組について	8
6	H30. 10. 11	J I C A 研修員	とち財団の取組について	6
7	H30. 10. 30	帯広市議友会	とち財団の取組について	20
8	H31. 2. 20	日高東部通年雇用促進協議会	食品加工技術センターの取組について	8
合計 8 件				166

### (3) 十勝地域町村訪問

表 60 (町村訪問実績)

年月日	訪問先
H30. 5. 30	幕別町：幕別町役場、幕別町商工会
	浦幌町：浦幌町役場、浦幌町商工会
	豊頃町：豊頃町役場、豊頃町商工会
	池田町：池田町役場、池田町商工会
	音更町：音更町役場、音更町商工会
H30. 5. 31	本別町：本別町役場、本別町商工会
	足寄町：足寄町役場、足寄町商工会
	陸別町：陸別町役場、陸別町商工会
	上士幌町：上士幌町役場、上士幌町商工会
	士幌町：士幌町役場、士幌町商工会
H30. 6. 1	大樹町：大樹町役場、大樹町商工会
	広尾町：広尾町役場、広尾町商工会
	更別村：更別村役場、更別村商工会
	中札内村：中札内村役場、中札内村商工会
	芽室町：芽室町役場、芽室町商工会
H30. 6. 6	清水町：清水町役場、清水町商工会
	鹿追町：鹿追町役場、鹿追町商工会
	新得町：新得町役場、新得町商工会

(4) 関係機関等の主催する会議等への参画・協力等

表 61 (関係機関主催会議等への主な参画・協力実績)

主催機関・事務局等	会議等の名称	備考
フードバレーとかち推進協議会（帯広市）	フードバレーとかち推進協議会	
帯広市	フードバレーとかち人材育成事業 運営委員会	
帯広市	帯広市産業振興会議	オブザーバー
帯広市	十勝地域産業活性化協議会	副会長
帯広市	とかち観光誘致空港利用推進協議会	副会長
帯広市・一般社団法人とかち地域活性化支援機構	帯広地域雇用創出促進協議会（※表 62 参照）	監事 /アドバイザー
帯広市	十勝バイオガス関連事業推進協議会	幹事
帯広市	十勝ファームツーリズム等推進協議会	
帯広市	十勝フェスタ実行委員会	
帯広市	とかち帯広空港における経営改革に関する検討会議	
帯広市	とかち高等教育推進まちづくり会議	
帯広市・フードバレーとかち推進協議会	十勝ドリームマップ会議実行委員会	
帯広市	帯広市ものづくり総合支援補助金審査会	審査員
帯広商工会議所・北海道十勝管内商工会連合会	とかち商工産業振興会議（とかちづくり会議）	オブザーバー
帯広商工会議所	とかちマルシェ推進協議会	幹事
帯広商工会議所	帯広チェンマイ交流協会	副会長
帯広商工会議所	JICA 草の根技術交流事業 関係機関連絡会議	
帯広商工会議所	My とかち推進協議会	
帯広商工会議所	とかち創業支援ネットワーク会議	
北海道	科学技術振興に関する地域懇談会（帯広）	
十勝総合振興局	十勝食育推進会議	
十勝総合振興局	とかち食推進会議	
十勝総合振興局	とかち 6 次化検討部会	
十勝総合振興局	地域新産業創造事業審査委員会	
帯広信用金庫	とかち・イノベーション・プログラム	
帯広畜産大学	帯広畜産大学地域連携フェロー	
帯広大谷短期大学	帯広大谷短期大学経営協議会	
帯広観光コンベンション協会	道東道とかち連携協議会	

表 62（一般社団法人とかち地域活性化支援機構・帯広地域雇用創出促進協議会との連携）

連携内容等
<p>【十勝産業振興センターへの入居】</p> <p>帯広地域雇用創出促進協議会が厚生労働省の委託事業「実践型地域雇用創造事業（平成 29～31 年度）」を実施するにあたり、平成 29 年 7 月より十勝産業振興センターに入居している。</p> <p>さらに、平成 30 年 10 月 1 日からは、同協議会を含む「一般社団法人とかち地域活性化支援機構（とかち機構）」の事務所機能全体が、十勝産業振興センターに移転した。</p> <p>【アドバイザー派遣】</p> <p>前年度に引き続き、同協議会が上記の一環として実施する新商品・新サービス開発事業「クリサポとかち」に対し、必要に応じて事業部（ものづくり支援課・地域連携支援課）の職員をアドバイザーとして派遣した。</p> <p>以上により同機構・協議会との連携を一層深め、地域の新商品開発や事業創発等の促進を図った。</p>

## （５）組織力強化の取り組み

### ①職員評価育成制度の本格導入

適正な評価と活用により、職員の能力・勤労意欲の向上と活力に満ちた働き甲斐のある職場づくりを進め、財団の事務局体制を強化するため、前年度の試行を踏まえ、職員評価育成制度を本格導入した。

### ②職員研修の実施

職員の専門性・実践力の向上や、業務改善等への意識の強化等を促進し、財団の事務局体制を強化するため、以下の内部研修を実施するとともに、外部研修に職員を受講させた。内部研修は講師招聘により 1 回)、役職員が講師を務める形で 2 回の計 3 回を実施した。

表 63（講師招聘による内部研修の実施実績）

開催日	対象	内容・講師
H30. 6. 29	管理職 (課長以上)	内容：人事評価研修 講師：株式会社アムリプラザ 庄野 二郎 氏

表 64（主な外部研修受講実績）

受講内容等	受講者数（延べ人数）
技術移転に関わる目利き人材育成プログラム	1
食品分野の試験研究・技術支援等に関する技能講習	1
機械・電子分野の試験研究・技術支援等に関する技能講習	6
公益法人会計・税務・労務に関する基礎・実務講習	6

## 7 管理運営事項

### (1) 理事会

#### ①第1回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成30年4月12日（木）
審議事項	1. 理事候補者の件 2. 評議員会開催の件

上記審議事項について決議された。

#### ②第2回

開催日	平成30年5月29日（火）
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	8名（理事6名、監事2名）
審議事項	1. 事業報告及び決算の承認について ①公益財団法人とかち財団（平成29年度） ②公益財団法人起業家支援財団（平成30年度） 2. 平成30年度予算の変更について 3. 評議員会の開催について
報告事項	1. 理事及び評議員の選任結果について 2. 規則の一部改正について 3. 平成30年度事業経過報告について

上記審議事項等について了承・決議された。

#### ③第3回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成30年8月29日（水）
審議事項	1. 理事候補者の件 2. 役員及び評議員の報酬及び費用弁償に関する規則（役員報酬等規則）の一部改正の件 3. 評議員会開催の件

上記審議事項について決議された。

#### ④第4回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成30年9月1日（土）
審議事項	1. 専務理事（業務執行理事）1名選定の件

上記審議事項について決議された。

⑤第5回

開催日	平成30年10月29日（月）
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	9名（理事8名、監事1名）
報告事項	1. 平成30年度事業経過報告について

上記報告事項について了承された。

⑥第6回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成31年1月24日（木）
審議事項	1. 新規事業の開始に係る公益法人変更認定申請の件 2. 定款の一部変更及び規則の一部改正の件 3. 評議員会開催の件

上記審議事項について決議された。

⑦第7回

開催日	平成31年2月21日（木）
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	8名（理事6名、監事2名）
審議事項	1. 2019年度（平成31年度）事業計画及び収支予算について
報告事項	1. みなし決議による理事会及び評議員会の開催結果について 2. 規則の一部改正について

上記審議事項等について了承・決議された。

⑧第8回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成31年3月25日（月）
審議事項	1. 株主権の行使の件 2. 事務局組織規則の一部改正の件

上記審議事項について決議された。

## (2) 評議員会

### ①第1回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成30年4月25日（水）
審議事項	1. 理事選任の件

上記審議事項について決議された。

### ②第2回

開催日	平成30年6月13日（水）
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	13名（評議員9名、理事2名[常勤]、監事2名）
審議事項	1. 事業報告及び決算の承認について ①公益財団法人とかち財団（平成29年度） ②公益財団法人起業家支援財団（平成30年度）
報告事項	1. 理事及び評議員の選任結果について 2. 規則の一部改正について 3. 平成30年度予算の変更について 4. 平成30年度事業経過報告について

上記審議事項等について了承・決議された。

### ③第3回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成30年8月31日（金）
審議事項	1. 理事選任の件 2. 役員報酬等規則の一部改正の件

上記審議事項について決議された。

### ④第4回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成31年2月12日（火）
審議事項	1. 定款の一部変更及び評議員会運営規則の一部改正の件

上記審議事項について決議された。



(3) あり方検討委員会

開催日	平成 30 年 7 月 9 日 (月)
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	7 名 (委員 5 名、理事 2 名[常勤])
検討事項	1. 第 2 期産業活性化ビジョンの進行管理 (PDCA) について

上記検討事項について事務局から説明がなされ、取扱い等について検討を行った。

(4) 資産運用委員会

開催日	平成 30 年 7 月 9 日 (月)
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	5 名 (委員 3 名、理事 2 名[常勤])
協議事項	1. 設置要綱の改正について 2. 資産運用の状況について 3. 今後の資産運用について

上記協議事項について事務局から説明がなされ、運用に関する検討を行った。

(5) 行政特別委員会

開催日	平成 31 年 1 月 29 日 (火)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	16 名 (十勝地域 19 市町村の行政機関担当者等)
協議事項	1. 平成 30 年度事業経過報告について 2. 2019 年度 (平成 31 年度) 事業計画 (案) について 3. 基本財産の状況及び平成 31 年度運営負担金について

上記協議事項について了承された。

(6) 公益法人変更認定申請

申請理由	ものづくり技術力の高度化や事業創発の加速化に向けた新規事業を 2019 年度 (平成 31 年度) より開始するため
申請内容	1. 公益目的事業 1 に「十勝ものづくり総合支援補助金」を追加 2. その他の事業として「事業創発拠点の管理運営事業」「海外先進地視察事業」の 2 件を追加
申請経過	H31. 1. 24 第 6 回理事会にて公益法人変更認定申請を決議 H31. 1. 25 所管行政庁の北海道に対して申請を実施 H31. 3. 29 北海道より公益法人変更認定を受ける H31. 4. 1 新規事業の開始

以 上